

井原すがこ

平成27年
2月定例会

No 15

県議会報告

討議資料

2015年5月

期待に応えます



たくさんの方のご支持をいただき、責任の重さと期待の大きさをひしひしと感じております。

これからも、みなさまと一緒に歩んでまいりますので、よろしくお願ひいたします。

任期最後の2月定例会は2月24日から開かれ、平成27年度予算案などが審議され3月13日に閉会しました。この4年間、16回の定例会すべてで一般質問を行い、県の行政について質しました。その源は、300回ほどミニ集会や議会報告会で伺った市民のみなさんの切実な声でした。

また、政務活動費の1680万円は、選挙で約束した通り、受け取りを辞退しました。

この4年間、しっかりとサポートいただいたことにこころからお礼申し上げます。

16回目の一般質問



3月4日の一般質問

県議質問平均5・5回

で私を含む6名です。

平成23年4月当選した議員の、本会議における質問回数は平均で5・5回、0回は7人です。最多は16回

任期中、小会派の質問時間の大幅な短縮もありましたが、私は再々質問を含め時間一杯質問しました。

1 財政健全化について

(県の貯蓄である)

質問

財源調整用基金の27年度末の残高見込みが102億円となってます。過去には1,000億円もあつたとも聞いていますが、「この間の推移を教えて下さい。」7,000億円の予算規模に比べて少ないと思いますが、今後の財政運営に不安はないのですか。

答弁

基金残高は、平成4年度末がピークで1,189億円、その後減

少し、27年度末見込み102億円です。突発的な財政需要の発生に備え、一定の財源調整用基金を確保しておく必要があります。山口県では、その水準を100億円としています。

(井原コメント)財源不足を補うために数百億円の取り崩しをしたこともあります。安定的な財政運営のためには、それを賄うだけの基金の積み立てが必要なはずです。)

2 新しい交付金について

質問

現在岩国市等には、10年間で百数十億円の米軍再編交付金が支給されていますが、これは自治体による米軍再編の受入れ容認が条件になっています。今回山口県に交付される新しい交付金については、山口県に对してどのような条件が付されているのですか。

答弁

市町に対する再編交付金については、関係する市町が再編の実施に理解を示した場合に支給されます。関係する市町が再編の実施に理解を示した場合に支給されるもので、それが要件とされていません。

米軍再編の容認は要件とされていません。

2面に続く

◆4月の県議選を目前にした今回の議会では、本会議での質問者が通常より3人も少なく、1日3人しか壇上に立たない日が、3日もありました。

新年度予算を審議する大切な議会であるにもかかわらず、選挙が気になるのか活気のない議会でした。



◆県議会議員として、1期4年を務めることができました。その間、議会で一度も質問をしなかった議員、議場で私語や携帯メールをしている議員、お昼寝中の議員など・・・、議員の仕事やモラルについて疑問を持つことが多くありました。

編集後記

「先生」と呼ばれる
ことを嫌いながら、県
議の第一期を終えた
「井原すがこ」議員で
す。この4年間、微力
ながら、「県議会報告」
発行のお
手伝いが
できただけ
と嬉しく
思います
と共に、
ご指導い
ただいた

印刷され、その一部は自らの足で各戸配布、ミニ集会で説明された。その内容は、読みやすく解りやすい記述でした。豪華で大判のカラーリ印刷には無い市民感覚

する姿は、議員活動の真髄と感心しました。

議会報告作成への熱意

「先生」と呼ばれる皆さんに心からお礼申のこもった紙面です。
とを嫌いながら、眞し上げます。
の第一期を終えた井原議員は、議会終には厳しく、また、納
了と同時に報告の執筆、得いくまで紙面と格闘。誤字脱字、文章表現
井原すがこ」議員で

今回の山口県に対する交付金については、国からは、これまでの米軍再編に対する本県の理解と協力の状況や、KC-130空中給油機の受け入れなどを総合的に判断したとの説明を受けています。

3 学校における

質問　スポーツ少年団の指導者など地域のスポーツ人材にはもちろん、地域の教育力として、学校づくりに参画してもらえば、色々な面で効果が期待できるのではないかでしょうか。教育長のお考えをお聞きします。

ます。その一環で、様々な地域人材の活用を進めており、スボーツ人材については、部活動顧問の自担軽減につながる外部指導者として支援をいたたいています。が、今後は、それ以外の学校支援にも、実情に応じてご協力いただくこともあります。

質問

スポーツ少年
団の指導者

3
学校における
部活動の充実について

4 愛宕山の 米軍施設建設について

愛宕山に建設予定の野球場で高校野球がで
きると岩国では盛んに宣伝されて
いますが、米軍基地という治外法
権の場所で高校野球の公式戦を行
うことが本

答弁に愛宕山建設予定の野球場の利用形態など運用の詳細については、今後、岩国市が国や米軍と調整されることとなつてあり、現段階では、高校野球の公式戦について判断できる状態にはな

いと考
えています

質問

当にできるのか、子どもの教育、安心・安全の責任者としての教育長のお考えをお聞きします。

(井原コメント) 米球の公式戦をするこ

